



**問**

自動販売機の長期間の撤去に、疑問を感じる  
村民の皆様のご意見を伺い、丁寧に進める

公明党 岡崎 悟 議員

**議員** 本村は、東日本大震災を経験して、節電とライフスタイルの転換を掲げ、公共施設から自動販売機の全てを撤去した。村の姿勢を明確に示したことで、節電に協力してくれた方も多く居られたと思う。しかし、自動販売機の撤去を、長期間続けることに、疑問を感じる。本村より先に、公共施設から自動販売機の撤去を進めた自治体では、住民の声を聞きながら、柔軟に自動販売機の設置を行っている。利用者視点で置いた施策を求める。

**総合政策部長** 今回の措置は、村民の皆様生活スタイルの転換を提案したもので、利用者から疑問が呈せられた場合には、経緯を丁寧に説明して、ご理解を頂いている。スポーツ施設等を利用する方には、あらか



総合体育館

じめ飲料水を持参するように、周知している。多少の不便さを享受して、余裕のある生活スタイルの啓発を図り、同時に、村民の皆様のご意見を、耳を傾けていく。

**村長** 住民の皆様のご意見を伺い、丁寧な行政運営を進める。



**問**

情報発信力強化への秘密保護法案の危険性は  
範囲によって、村所有の情報も指  
定の場合も

日本共産党 川崎 篤子 議員

**議員** 村長は「村民が必要とする情報を積極的に発信する」と所信表明。「秘密保護法案」は、情報発信力の強化と役場の意識改革にどんな影響が及ぶか。

**村長** この法案は地方公共団体を含まないため、村に直接的な影響をもたらさないと考えるが、特定秘密の範囲によっては、村所有の情報も指定される場合もある。法案の審議状況を注視したい。

**議員** 秘密保護法案は、何が秘密かも「秘密」という事態になりかねない。秘密を漏らした国家公務員、秘密を知ろうとするメディアや一般国民にもこれまでにない重罰を科すのが法案の狙い。基本的な人権の侵害であり重大。注視するというがどう感じるか。



「賛成・反対・わからない」街頭シール投票

**議員** 村民の知る権利を保障する立場から、国民の目と口をふさぎ戦争に突入した誤りを繰り返させないよう「秘密保護法」阻止の積極的な認識に村は立つべき。

**村長** 国民、有識者いろんな方が苦言を述べている。国民の知る権利と報道の自由について国においても十分配慮されたい。